

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-2-1		事業名	中小企業金融対策資金
担当	経済局産業振興部金融担当課金融担当係 伊藤 TEL 211-2356			
全体計画				
事業内容	中小企業者等の資金調達の円滑化を図るため以下の事業を行う。 (1) 預託金の預け入れ 融資に必要な原資を取扱金融機関に預託するなどして、中小企業者等の資金調達の円滑化を図る (2) 信用保証協会への損失補償 一般中小企業振興資金等の中で、北海道信用保証協会の保証付融資の実行分が代位弁済に至った場合、未回収の元金及び利子から日本政策金融公庫の保険金を差し引いた残額について、本市が北海道信用保証協会に対し損失補償を行う (3) 信用保証料の補給 一般中小企業振興資金の中で負担する信用保証料を北海道信用保証協会に補給する		<年度別の事業内容>	
			<ul style="list-style-type: none"> ・19年度 新規融資 900億円(8,000件) ・20年度 新規融資 1,100億円(8,600件) ・21年度 新規融資 1,100億円(8,600件) ・22年度 新規融資 1,100億円(8,600件) 	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	中小企業者等の資金調達の円滑化を図るため、預託金の預け入れ、信用保証協会への損失補償、信用保証料の補給を行った。 融資実績 件数8,379件 融資額 94,534,195千円		中小企業者等の資金調達の円滑化を図るため、預託金の預け入れ、信用保証協会への損失補償を行った。 平成20年度の事業内容に係る制度の改正点 ・一般中小企業振興資金のうち、「小規模経営改善資金」を「元気がんばれ資金」に制度改正した ・一般中小企業振興資金のうち、「原油・原材料価格高騰緊急対策おうえん資金」を創設した(平成20年11月25日～平成21年3月31日) 融資実績 件数8,449件 【内訳】 ・一般中小企業振興資金8,219件 (元気がんばれ資金254件は別事業のため除く) ・特別資金230件 融資額 105,352,887千円 【内訳】 ・一般中小企業振興資金102,306,477千円 (元気がんばれ資金1,062,700千円は別事業のため除く) ・特別資金3,046,410千円	
	平成21年度事業内容(予算)			
規模	引き続き、中小企業者等の資金調達の円滑化を図るため、預託金の預け入れ、信用保証協会への損失補償を行う。 平成21年度の事業内容に係る制度の改正点 一般中小企業振興資金のうち、「原油・原材料価格高騰緊急対策おうえん資金」を「景気対策緊急支援資金」に制度改正した。 融資目標 件数8,600件 融資額 110,000,000千円			
件数等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-2-1			事業名	中小企業金融対策資金		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
新規融資額	1,094.7億円/年	945.3億円/年	1,053.5億円/年	1,100億円/年	1,100億円/年	1,100億円/年	
新規融資件数	8,579件/年	8,379件/年	8,449件/年	8,600件/年	8,600件/年	8,600件/年	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 本事業の融資により、市内中小企業者等の育成振興及び経営安定を促進した。 [人材協力] 本事業の融資により、市内中小企業者等の経営を安定させ、雇用を確保・促進した。 [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 本事業は、融資の相談・受付窓口を市内の取扱金融機関・札幌中小企業支援センターとしたことで、多くの企業等が、制度について利用しやすい仕組みとなった。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>中小企業融資制度は、本市の産業にとって重要な地位を占める中小企業者等に対し、低利で安定した資金調達ができる制度として設けられた。経済状況や金融環境の変化に応じて随時改善を行い、中小企業者等の資金調達の円滑化を推進している。</p> <p>20年度の融資実績は、19年度を大きく上回る実績となった。理由として、昨今の金融環境悪化に伴い、国の経済対策である「緊急保証制度」が平成20年10月31日に開始されたことで、資金繰りの悪化した中小企業者等の融資申込みが増大したためである。</p>			<p>昨今の金融環境の悪化により、市内の中小企業者等を巡る環境は一段と厳しくなっており、金融環境や社会情勢の変化に機動的に対応していくことが課題である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>中小企業者等の事業の振興及び本市の各種産業施策全般にわたる補完制度として設けている中小企業融資制度について、その事業趣旨は引き続き継続していくとともに、経済状況や金融環境の変化に応じて随時改善を行いつつ実施していく。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-2-1			事業名	中小企業金融対策資金	
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	79,917,300	82,149,900	82,149,900	82,202,700	326,419,800	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	79,892,678	82,085,000	82,085,000	82,137,800	326,200,478	
予算	事業費	79,917,300	78,998,000	84,451,500	-	243,366,800	
実績	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	79,892,678	79,009,435	84,246,800	-	243,148,913	
	事業費	75,109,755	72,260,599	-	-	147,370,354	
事業費の進捗率	(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)					71.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
執行率は、約93.9%となっており、ほぼ予算どおりの執行である。							
[20年度]							
経済情勢等の影響による19年度予算と実績の差異を、20年度にも反映させた結果、予算は約1.2%減となった。執行率は、約91.4%となっており、昨年度より若干減少したが、20年度上期の融資実行が伸び悩んだためである。							
[21年度]							
金融環境悪化の影響を反映させた結果、融資額増が見込まれるため、21年度予算は約6.9%の増となった。							